

平成 27 年度 学内リトリートのご報告

平成27年11月8日(日)に本学のアメニティ講義室で学内リトリートを行いました。

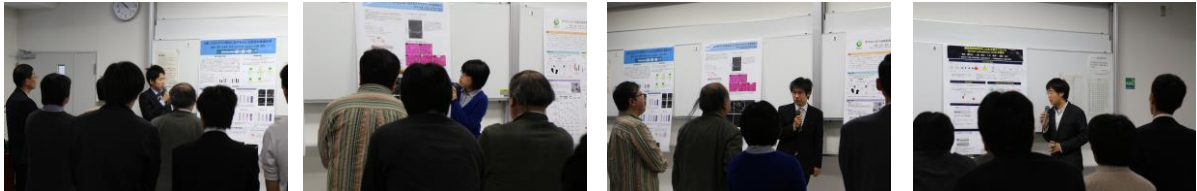
今年度は以下の次第どおり行いました。

- 10:15 開会の挨拶(石崎医科学専攻教務委員長)
- 10:30 ポスター発表会
- 11:30 プレ履修者の国際学会予演(応用生理学分野 5年 小尾 紀翔君)
- 13:00 大学院 FD 開会の言葉(峯岸医学系研究科長)
- 13:05 「初めての英語論文作成講座」(渋谷メアリー先生)
- 14:05 プレ・正規履修者研究支援プログラムプロジェクト審査会
- 16:15 卒前・卒後一貫 MD-PhD コース正規履修者の講演(病理診断学分野 大学院 2年 片山 彩香さん)
- 16:45 学部外評価委員による講評(理工学府教授 櫻井 浩先生)
- 16:55 閉会の言葉(石崎医科学専攻教務委員長)

①開会の挨拶

石崎医科学専攻教務委員長による開会の挨拶で「学内リトリート」が開始しました。

②ポスター発表会



今回4名がエントリーし、発表8分、質疑応答7分で進行了ました。出席者全員で審査を行いました。

③プレ履修者の国際学会予演

11月23日から26日までバンコクで行われる第8回アジア・オセアニア生理学会で発表予定の小尾紀翔君(応用生理学分野5年)が予演を行いました。



講演が英語で行われるため、座長(5年蛭間貴司君)も英語で務めました。午後の講師である渋谷メアリー先生からアドバイスを受け、国際学会参加に大きな自信を得ました。

④大学院 FD 開会の言葉

今回のリトリートは、午後の部から大学院 FD を兼ねて行われました。大学院 FD の開会の言葉は峯岸医学系研究科長により行われました。



⑤「初めての英語論文作成講座」

本学大学院の非常勤講師である渋谷メアリー先生に、今回、学部生を対象とした英語論文作成についての講演をお願いしました。実践的な内容であったことから参加者全員真剣となり、非常に充実した講義となりました。



⑥プレ・正規履修者研究支援プログラムプロジェクト審査



今回は7名が応募し、8分の発表と7分の質疑応答を審査委員が審査しました。参加者から多くの質疑があり、発表者にとっては長い7分間となりましたが、各々高い評価を得る内容でした。

⑦卒前・卒後一貫 MD-PhD コース正規履修者の講演

大学院医学系研究科2年、病理診断学分野の片山 彩香さんから、正規履修者として初期臨床研修と研究(授業)を両立させている現状や、自身の研究を紹介してもらいました。後に続くプレ履修者や、その指導教員から多くの質問があり、とても貴重な話を聞くことができました。



⑧学部外評価委員による講評

今年度の外部評価委員は、本学理工学府教授の櫻井浩先生をお願いしました。先生には午前の部から参加していただき、審査委員も務めていただきました。他学部ということで、また違った見識から評価していただきました。ご意見を参考にコースの改善を図りたいと思います。



⑨閉会の言葉

石崎医科学専攻教務委員長の閉会の言葉により無事研修を終了しました。場所を移した懇親会の中で優秀ポスター賞と研究支援プログラムの採択者の発表を行い、長い一日を終えました。